

# 浦和区自治会連合会

## 平成 28 年度自治会役員研修会

### 報告書

- 1 日時 平成 28 年 10 月 19 日 (水)・20 日 (木) 一泊 2 日伊香保温泉「ホテル松本楼」
- 2 研修地 足利市 ころみ学園 (指定障害者支援施設)・群馬県庁
- 3 研修テーマ 障害者支援施設の運営・県庁舎施設
- 4 参加者 浦和区自治会連合会 会長 藤枝陽子  
副会長 原口卓也  
副会長 石井桂太郎  
(会長・副会長 21 名)  
浦和区役所 浦和区長 川島雅典  
コミュニティ課長 星野 正  
コミュニティ課長補佐 岩瀬伸一郎  
(合計 24 名)
- 5 応対者 指定障害者支援施設「ころみ学園」  
事務局長 佐井氏

#### 6 研修概要

##### 第一日 19 日 (水)

曇り空の中、午前 8 時浦和区所前を出発。藤枝陽子会長から挨拶、2 日間研修をすることを述べる。

途中休憩を取りながら、前地自治会・佐々木 弘会長から防災の感震ブレーカーと地区防災計画策定について車内研修があった。

##### \*午 前

##### ころみ学園の佐井事務局長と面談

知的障害者施設ころみ学園は、1950 年代栃木県足利市の特殊学級の中学生たちとその担任教師(川田昇氏)によって山の急斜面にブドウ畑が開墾されたのが始まりです。30 人の園生と 9 人職員でスタート、現在は 130 名の利用者がいます。94 歳を筆頭に平均年齢は 55 歳以上と高齢化が進んでいます。働き、家族のように暮らす人たちの施設です。

佐井事務局長は、次のようなことを強調されています。

- 1 貧乏でもいい、汗をかいて、一生懸命働く。
- 2 自分のできることは、繰り返しやれば自分なりにできるようになる。
- 3 障害者だからできないのではなく、遣らせてみる。

ブドウ畑や譲造場で働く人のために、毎日 130 人分の食事を造る人。洗濯物を 100 人分を洗濯し、干したり、間違いなく仕分けする。(その道プロとなる人)ブドウ畑の夏、

蒸し暑い中の下草刈、カラスを追い払いブドウを守る人など、ワインづくりを支える人達です。

人生を一生安心して暮らせる施設を見学しました。

また「こころみ学園」の運営全般について意見交換をいたしました。

\*午 後

「榛名神社」を参拝して「ホテル松本楼」に宿泊しました。

第二日 20日（木）

\*午 前

群馬県庁の昭和庁舎と新県庁舎が共存しており「県民の県庁」として親しまれている施設を見学しました。

\*午 後

「長瀬のライン下り」をして午後 5 時 30 分に浦和区役所に帰着しました。

ご多忙中ところご参加下さいました会長・副会長の皆様、浦和区役所の職員皆様、誠にありがとうございました。

平成 28 年 10 月 24 日

副会長 原 口 卓 也